【資料6】

代替案の検討について

複合施設・庁舎等整備推進室

RUMOI
その美しさに息を呑むほどの夕陽と
世界三大波濤のまち

代替案の検討

【A案】

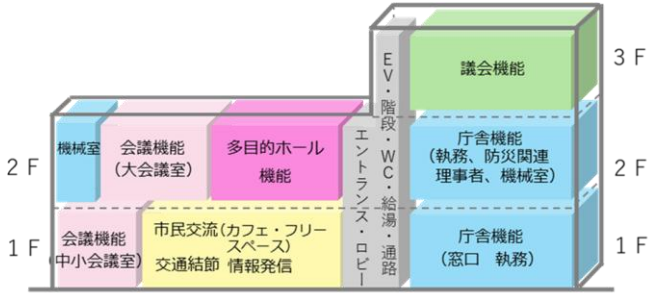


・基本計画（フルボリューム）
9,700㎡（市民交流4,200㎡、庁舎5,500㎡）
4階建　124億円　職員全員（255人）配置

将来的に実質公債費率が大幅上昇により**見直し**
※R8.8時点では、**142億円**（設計、外構、什器除く）とさらに上振れ

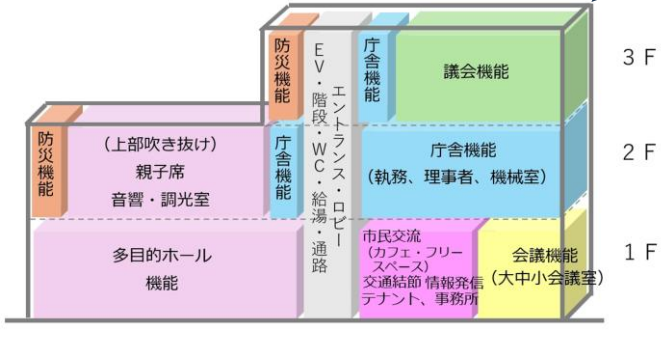
【B案】

・A案を基本としつつも、事業費**約１００億円以下**かつ**一般単独費（基金を予定）３１億円以下**の中での検討



多目的ホール　→　グレードダウン⤵

・市民交流**3，200㎡**、建築工事費**約39億円**
・庁舎**3,100㎡まで縮小**、建築工事費**約38億円**
・基本・実施設計**約4億円**、外構・車庫等**約13億円**を含めると**合計約94億円**
・職員数は、**200人程度**（理事者含む）の配置
・庁舎分散化（**分庁舎に50人程度**）



多目的ホール　→　グレードアップ⤴

・市民交流**4，100㎡**、建築工事費**約68億円**
・庁舎**3,100㎡まで縮小**、建築工事費**約38億円**
・基本・実施設計**約5億円**、外構・車庫等**約13億円**を含めると**合計約124億円**
・職員数は、**200人程度**（理事者含む）の配置
・庁舎分散化（**分庁舎に50人程度**）

代替案の検討

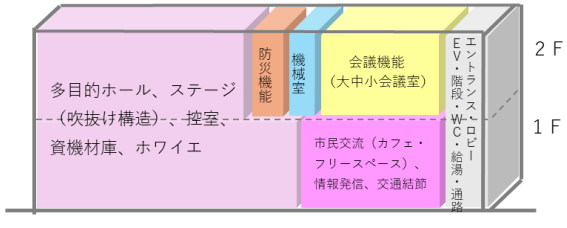
【C案】



- 『庁舎』と『市民交流・ホール』を別棟
- 『庁舎』は、将来負担を考慮しながら事業手法や整備費の圧縮を検討
- 『市民交流・ホール』は、これまでの議論を反映した形で検討

・面積、概算事業費は、B案と同様
・職員数は、170人程度（理事者含む）の配置（別棟にした場合、庁舎にも階段、EV、会議室を設置するため、B案よりも職員が配置できない）
・庁舎分散化（分庁舎に80人程度）

【D案】



- 『市民交流・ホール』のみ、これまでの議論を反映した形で駅跡地に整備
- 『庁舎』は既存施設の活用を含め再検討

・市民交流4，100㎡、建築工事費約58億円
・基本・実施設計約4億円、外構等約6億円を含めると合計約68億円
・庁舎は、今後検討（既存施設の洗い出し、施設によっては、事務所として転用可能か耐力度調査の実施、改修費の試算等）

※庁舎は、新たな建設を前提とはせず、既存施設を活用しながら、必要な機能を再構築する方向で検討を進めるが、庁舎新築を否定するものではない。